



隊友さつま

◆発行◆
鹿児島県隊友会

◆発行責任者◆
村山文彦

◆印刷◆
(株)新生社
鹿児島市七ツ島

新年のご挨拶

県隊友会長 村山文彦

鹿児島県隊友会の会員
ならびにご家族の皆様、
新年明けましておめで
うございます。

隊友会も公益社団法人
となり、早くも5年にな
ります。県隊友会も各支
部毎に災害ボランティア
活動や、戦没者墓地の清
掃・慰霊活動など公益事



業に積極的に取り組んで
いるところであり、各支
部長・分会長さんはじめ
会員の努力・協力に心か
ら感謝し、敬意を表しま
す。

県内の自衛隊は、南西
諸島の軍事情勢を見据え
国防最前線の任務遂行と
これがための厳しい実戦
的・実際の訓練を積み重
ねています。

また昨年鹿屋基地から
は海賊対処活動のため隊
員がソマリアに派遣され
昨年11月には無事帰国
し、世界平和のためにも

年頭にあたって

県知事 伊藤祐一郎

明けましておめでとう
ございます。

公益社団法人隊友会鹿
児島県隊友会の皆様には
おだやかに新しい年をお
迎えることとお慶び申し
上げます。

隊友会におかれまして
は、自衛隊の活動への協
力や防衛意識の普及・高



揚など、国民と自衛隊の
架け橋として積極的に活
動されるとともに、元自
衛官としての能力と経験
を生かした災害時の協力
等について、県との協定
に基づく体制を整備して
いただいております。深く敬
意と感謝を申し上げます
さて、今日の国際社会
におきましては、テロや
地域紛争など緊張は絶え
ることがなく、我が国周
辺でも、国の安全に関わ
る諸問題は緊迫の度を増
しつつあり、さらには、
国の内外において重大な

大きく貢献しています。
また昨年 平和安全法
制関連法」が可決成立し
新しい時代を迎えていま
すし、国民の期待も大き
くなっていきます。反面、
憲法9条の改正がなされ
るまでは、”国内的には
軍隊ではない”という側
面が継続し、軍事活動上
の制約も多々あります。

私達は “退官後も” 自
衛官等であったことに誇
りを堅持し、自分を育て
てくれた自衛隊に感謝し
熱い思いを持って応援し
たい”という心持ちの人
達の集まりです。今年も
自衛隊と国民との架橋
”というスローガンを高
く掲げ、力強く活動して
参りましょう。

何と云っても、隊友会
も人の集まりです。人の
多さと親睦が第一だと思
っています。自衛隊の基
礎が多発しています。

このような中、自衛隊
は、ソマリア沖の海賊対
処行動や国際連合南スー
ダン共和国ミッションな
ど、国際平和活動に積極
的に取り組まれるととも
に、台風第18号に伴う
東日本豪雨におけるヘリ
コプター等の機動力を駆
使した人命救助や、頻発
する災害に対し、迅速か
つ的確に対応され、また
防衛力の整備など国土の
保全のための施策を着実
に推進されています。

本県におきましても、
昨年5月29日に発生し

地や駐屯地も近くに無く
また20人以下の小さな
支部が、会勢維持のため
未加入0B会員への声か
けなど、必死に努力され
ている姿には頭が下がら
ず、互いを認め合い、尊
敬し、仲良く・明るく・
風通しの良い組織づくりに
努めて参りましょう！

今年も、私が “歌舞伎
会会員” となり30年目
の節目の年になります。

元来日本人は物の始まり
を重んじると言われます
が、江戸歌舞伎では正月
に必ず “吉” を呼ぶと
言われる曾我狂言 “初曾
我” を上演するのが慣習
となっており、大衆庶民
もこれを見て “げん”
をかついでいた”と云い
ます。 “初曾我” にあや
かり、皆様にとり素晴ら
しい年になりますよう祈
念し、年頭のご挨拶とし
ます。

た口永良部島の爆発的噴
火に迅速に対応していた
だくとともに、災害派遣
や離島急患搬送及び防災
訓練への参加など、緊急
時等における自衛隊の活
動は、県民の生命、財産
を守る上でますます重要
になっており、隊友会の
皆様にも、国民保護訓練
や防災訓練への参加など
に御協力いただいております。

隊友会の皆様には、引
き続き、自衛隊の活動と
郷土の発展のためお力添
えを賜りますようお願い
を申し上げます。

新年を迎えて

参議院議員



本年も変わらぬご厚情を
賜りますよう、宜しくお
願い申し上げます。

さて、昨年は、新たな
日米ガイドラインが策定
され、それを担保する “
平和安全法制” が成立し
た安保政策の節目の年で
極めて画期的な前進でし
た。今後は残された課題
に対し、政府はしっかりと
向き合う義務と責任が
あります。

第一に、任務を拡大する
以上、それに見合う人員

新年のご挨拶

川内駐屯地司令



新年明けましておめで
うございます。

公益社団法人隊友会鹿
児島県隊友会の皆様にお
かれましては、平成28
年の新春を健やかに迎え
ることと、心からお慶
び申し上げます。

鹿児島県隊友会の皆様
には、平素から国民と自
衛隊の架け橋として、防
衛意識の普及・高揚にご
尽力いただくとともに、
川内駐屯地の諸行事、諸
活動に対する積極的なご
支援・ご協力を頂いてお
りますことに対し、この
場をお借りして、改めて
御礼申し上げます。

昨年、川内駐屯地は開
設30周年という節目の
年を迎え、9月の川内駐
屯地創立30周年記念行
事におきましては皆様の
格段のご支援・ご協力で
より国道3号線における
市中行進、記念講演を含
む市民と自衛隊員のつど
い、式典、訓練展示など
を盛大に実施し、成功裏
に終えることができました
。これらの行事を通じ
地域の皆様と隊員が更に
その絆を深めることがで

と予算をつけることです
第二に、現場の部隊にリ
スクを負わせるならば、
それは隊員が命を賭ける
に見合った社会的地位・
処遇を確立すること。

第三に、国民に継続して
説明責任を果たすと共に
国防教育を推進し、平
和を守る為は何をすべき
か”を主権者自らに問い
かけて行くことです。

本年は鹿児島にとって
選挙の年です。4月の鹿
児島市議会選挙、そして
7月には、県知事選挙と
安倍政権の今後を決定づ
ける参議院選挙がやって
参ります。日本が輝かし
い再生をできるよう、ま
た防衛省・自衛隊が万全
の態勢で任務に邁進でき

き、本当に幸せに感じて
おります。

さて、我が国を取り巻
く安全保障環境は、一層
厳しさを増しております
国外においては周辺国に
よる軍事力の近代化・強
化や軍事活動などの活発
化の傾向がより顕著にみ
られる等安全保障上の課
題や不安定要因がより深
刻化している一方、国内
においては、南海トラフ
地震がいつ生起してもお
かしくない状況であり、
また、昨年の口永良部島
など、自然災害の被害は
年々大規模で直接的な脅
威になって参りました。

このような情勢の中、
川内駐屯地及びその周辺
の状況について申し上げ
ますと、昨年10月から
11月に行われた、大分
県の日出生台演習場にお
いて、離島における作戦
を想定した大規模な訓練
”鎮西27方面隊実動演
習”に一昨年に引き続い

るよう、私も残された任
期において、外交・安全
保障政策の更なる推進に
全身全霊で取り組んで参
る所存です。来る選挙に
おきましても、恥ずかし
くない戦いをし、優秀な
成績で勝利したいと願っ
ておりますので、鹿児島
県隊友会の皆様方のご支
援を何卒よろしくお願ひ
申し上げます。

最後に、今年一年が我
が日本国にとりまして幸
多き年となり、国民の皆
様が昨年同様に安心して
暮らせまますよう、同時
に会員の皆様方の御健勝と
御多幸を御祈念申し上げ
させていただきます。

こうした状況を踏まえ
2月には川内原発を中心
とする原子力災害対処訓
練が行われるなど、年々
この地域の役割及び重要
性が増しているところで
あります。

私どもが担任する薩摩川
内市が所在する鹿児島県
はまさに国防の第一線で
あること及び自衛隊の使
命・任務の重さを再認識
しており、本職及び駐屯
地隊員一同、国民・県民
の皆様への期待に応えるべ
く部隊強化への決意を
新たにしているところで
あります。

皆様におかれましては
どうか今年も、ご支援、
ご協力のほどよろしくお
願ひ申し上げます。

最後に、公益社団法人
鹿児島県隊友会の益々の
ご隆盛と会員皆様のご多
幸、ご健勝を心より祈念
申し上げます。

では済まない。▲習金平
がオバマ大統領と会談し
た際、太平洋は貴国と
我が国とで管理するに十
分な余地がある。”と云
った。オバマが “そうだ
な、そうしようか。”と
返事したら、我が国を含
めた韓国、台湾、フィリ
ピンはいったいどうなる
のか？考えたただけでおぞ
ましい。▲最近、日韓中
の会談が行われ一見友好
ムードが演出されたが、
我が国と価値観が全く違
う共産主義独裁体制で独
裁者の考え一つでどうに
でもなるお国柄には、ど
うしても危うさや不気味
さを感じる気が拭えな
い。

安保関連法案が難産の
末可決された。野党やリ
ベラル諸団体等が “戦争
法案” 等と声高に叫んで
いたが、自衛隊員も含め
て日本国民の誰一人とし
て戦争が好きなどないま
い。▲彼等の常套句の一
つに “憲法9条があるから
日本は安泰だ”と云う
、某国が我が国を攻めて
来たら憲法学者に最前線
に行ってもらい、六法全
書を広げて “ここに憲法
9条がありますから撤退
して下さい”と叫んでも
らいましょう。▲東日本
大震災の際、予想外の大
津波で2万人近い人々が
命を落とした。当時の政
府は “想定外” と言ひ訳
をしたが、自然が相手だ
けに納得せざるを得ない
面もある。しかし、某国
からミサイルの飛来や、
我が国が攻撃され領土を
奪われ人命が失われたり
した時に “想定外でした
、済みませんでした。”
では済まない。▲習金平
がオバマ大統領と会談し
た際、太平洋は貴国と
我が国とで管理するに十
分な余地がある。”と云
った。オバマが “そうだ
な、そうしようか。”と
返事したら、我が国を含
めた韓国、台湾、フィリ
ピンはいったいどうなる
のか？考えたただけでおぞ
ましい。▲最近、日韓中
の会談が行われ一見友好
ムードが演出されたが、
我が国と価値観が全く違
う共産主義独裁体制で独
裁者の考え一つでどうに
でもなるお国柄には、ど
うしても危うさや不気味
さを感じる気が拭えな
い。

九州・沖縄ブロック研修

宮崎地区開催

1月28日、宮崎県都城で開催された研修会に鹿児島隊友会からも34人の会員が参加しました。研修会では安定した隊友会経費の確保・会費徴収についての研修、元統幕長折木先生の防衛セミナー、その後意見交換会が実施されました。



来賓の宇都隆史参議院議員の祝辞

九州各隊隊友の活躍や近況を交換し、親睦を深め明日への活力を頂いて帰路につきました。

さて、折木先生からは日本の安全保障について冷戦構造下は、ある意味安定していた時代。現状は、力の空白や米国の曖昧な態度、中東諸国の統治能力不足、ルールを無視する新興勢力の台頭等不安定要素があり、いつ冷戦状態や熱戦状態に移行するかわからない温戦状態とも言える。このような中、平和安全法制が制定されたが、自衛隊はイラク派遣においても厳しい自己規制下、立派

に任務を達成したように日本はもう少し自信を持って前向きに対応してもいいのでは」等示唆に富んだ有意義な講話を頂きました。

私は、最近、地元の戦没者追悼式に参列しました。式では追悼の言葉や中学生による平和の大事さが語られ、戦没者の御霊に深く感謝し平和を希求する気持ちを新たにしました。語られた純粋な平和への想いを実現するために世界情勢に応じ抑止力を高める努力が必要ですが、しかし、その手段方法は考えないか考え準備することが戦争を起す勢力が在るのが残念です。今そこにある問題への現実的な対応や国益よりも党利党略優先、平

運動公園清掃

伊佐市総合グラウンド入り口にT33ジェット練習機(二人乗り)が展示されています。小生が昭和32年8月航空自衛隊に入隊して、静岡県浜松基地に配属された当時T33・F86F・F86D等が主力で本場に懐かしさがこみ上げてきます。

隊友会伊佐支部では、



T33を含む公園清掃を実施する伊佐支部

毎年10月に清掃作業を行っています。会員15人程でそれぞれが洗車ブラシ、デッキブラシ、竹ポーキ等更には軽トラに洗浄機一式を積み、ジェット機の清掃をしています。また、ジェット機周辺の公園の清掃も兼ねていますので、ピーパー、一輪車、剪定ばさみ等も持参しています。隊友会会員の他、行政からも2人ほど参加します。

1時間半程の作業を

実施した後に懇談し、伝達事項を伝えて終わりますが、その夜は定例の懇親会があり大盛会となるので毎回楽しみにして出席しています。

毎年10月中旬に、伊佐市市民体育大会が開催されますが、子供達が綺麗になった展示飛行機で楽しそうに遊んでいるのを見ると嬉しく思います。

また伊佐市には、小学校単位で15のコミュニティ協議会があり、その会長に隊友会会員が昨年度は4人、今年度は3人が就任し各校区の発展のために頑張っています。

その他、地域の安心・安全のために青パト隊やスクールガード等に参加して小学生等が安心して登校できるよう早朝からの立哨等に協力しています。

伊佐支部 白坂好孝 記

家族作文

手作りの

ひと掴みの削り節と煮干し、それに干し椎茸の戻し汁。味付けは薄口醤油と少量の砂糖。

これだけで作る義母の麵つゆは絶品であった。薬味は庭先の茗荷や青じそ。付け合わせはへちまやにがりの味噌炒め等あっさりとした物。

子供達も夏休みに夫の実家で食べる素麵が好きでびっくりする程よく食べていた。つゆが美味しくて、麺と一緒に頂くのが飲んでしまうのだ。

近頃は、麵つゆだけでなく色々な合わせ調味料が市販され、便利なのでつい買ってしまいが、できる限り手作りの我が家の味を食卓に載せていきたいと思う。

そして、かつて娘達がそうであった様に、いつか孫たちが帰省した時に私の味を喜んでくれる日



中央支部 佐野ふみ子氏

同じ味が出せない。何となく違う。バターやチョコレートに慣れた舌は、長年、自分の畑から取れた自然な物を丁寧に食べたきた人の舌にはなかなか追いつけない。つい市販の物で間に合わせると市販よりお婆ちゃんをつゆがいいのにと、食べるだけの人からチクリとくる。

思えば義母は、朝仕事の合間にいつの間にか作り、水を張った桶に冷やしてあったものだ。鯉節と干し椎茸の良い香りがして昼ごはんが楽しみだったのを覚えている。

近頃は、麵つゆだけでなく色々な合わせ調味料が市販され、便利なのでつい買ってしまいが、できる限り手作りの我が家の味を食卓に載せていきたいと思う。

そして、かつて娘達がそうであった様に、いつか孫たちが帰省した時に私の味を喜んでくれる日

二式大型飛行艇の紹介

二式大型飛行艇は、昭和15年初飛行、当時世界一の高性能を誇った大型飛行艇です。昭和17年正式採用され、偵察・哨戒・輸送など長大な航続距離を活かした任務で活躍し、終戦までに合計167機が製造されました。



鹿屋基地展示の二式大型飛行艇

のウルシー泊地奪還のための米軍艦艇への特攻作戦で、梓特別攻撃隊として爆撃機「銀河」24機が鹿屋基地から初の特攻出撃をしました。この作戦の誘導、天候偵察任務に二式大艇3機が鹿児島島の鴨池基地から出撃しました。

戦後、昭和20年9月米軍から 鹿屋基地に残されている二式大艇1機を横須賀に空輸し、米海軍に引き渡せ」という命令が発せられました。米海軍はその二式大艇を本国に空母で移送し、各種調査を行い、その高性能に驚嘆したそうです。

その後、昭和54年に日本に里帰りをして東京

「宝曆治水工事」の紹介

シリーズ一 単人支部 石神 民男

一 初めに 私が、薩摩義士による宝曆治水工事を知ったのは、学生時代に小説を読んだ木曾川、長良川及び

揖斐川のいわゆる木曾三川と呼ばれる暴れ川の洪水・氾濫により、地域住民の人々が、多くの人命と田畑を失い、大変な難儀をしている状況の中、薩摩藩のお手伝い普請により、現地の地域住民や財産を守ったということに感動したからです。その後十数年が経過し、平成22年秋霧島市薩摩義士顕彰会に入会しました。

二 時代的背景 江戸時代中期第8代将軍徳川吉宗公 T684



平田勲負銅像

幕府の安定期であった。その後、家重公の代となり、絶大な権力の下幕府は、諸大名にお手伝い普請を命じ各地における土木工事をさせた。わが薩摩藩にとっても例外ではなかった。従って、各藩の財政状態は、逼迫しこの命に背けば、御家断絶は、免れなかったのである。

※普請の種類 (インターネット資料)

① 公儀普請：幕府が自らの費用負担と責任において実施するもの。

幕府の大名施策

① 狙い：強力な統制による幕藩体制の維持(権力の集中) 諸大名の財力削減

② 手段：①武家諸法度による参勤交代(一年置きの江戸と国元の往来、妻子の江戸住まい(人質))

③ 幕府に対する絶対服従(命令違反は、取潰し、滅封)

④ お手伝い普請の状況 1747年(延享4年) 二本松藩 1753年(宝暦3年) 薩摩藩藩主島津重年公 1766年(明和3年) 萩・小浜・岩国の各藩 これ以降、1861年(文久元年)まで66個藩に命じている。このう

【囲碁大会のお知らせ】

- 時期：H28. 2. 14(日) 9:00~16:00
- 場所：霧島市国分シビックセンター (駐車場有り:無料)
- 実施要領：個人戦(オープンゲーム 将棋 も準備)
- 参加費：無料 移動及び昼食等個人計画
- 申込：支部長を通じて県及び国分支部事務局へ 国分支部：電話・FAX(0995-47-0031)

◎叙勲受章

(秋の叙勲)

★瑞宝双光章 危険業務)

◆国分(陸)

竹中 義明 殿

★瑞宝単光章 危険業務)

◆国分(陸)

大坪 耕二 殿

松田 健 殿

吉田 茂貴 殿

張田 清彦 殿

◆喜界町(陸)

晴れの受章 おめでとう

謹んでご冥福を

が来ればこの上なく幸せである。 鹿児島地協 中央支部 家族 佐野ふみ子 記

◆鹿児島地協

有馬 雅英

畦地 正春

鳥丸 満隆

◆国分支部

田代 四朗

牛山 政信

中崎 榮蔵

◆伊佐支部

山下 博儀

◆始良支部

森山 六雄

◆南さつま支部

新屋 二郎

◆伊集院支部

内山 国雄

◆単人支部

支部紹介

入来町は、薩摩川内市の東部に位置し人口約5千人で、温泉と歴史の町として広く皆さんの知る所です。特に温泉は江戸時代からの古い温泉もあり西郷さんも良く利用されたと言われております。私も毎朝自宅から車で10分ほどのところにある温泉に入り、健康



入来町の有名な武家屋敷群

維持に努めております。歴史については、鎌倉時代から入来院が治めており、中世紀に書かれた

入来文書がアメリカのイール大学に勤務した、福島出身の朝河貫一教授により出版されてから全国で有名になりました。入来支部は、支部長以下12人で4人の理事を中心として円滑に運営されています。会員は、高齢化が進み80歳以上が3割強となり、病弱や老介護等で災害時の救援に参加できる人員は、5人程度です。会員は、現状を良く認識し仲良く支部運営に携わっています。私は、平成7年に支部長になって約20年になりますが、後3年ほどで防大出身者との交代を予定しています。しかし、綺麗な自然に

戦後70年「戦争体験記」

南さつま支部 高木 敏行

私は昭和7年、南さつま市新川で生まれ育ちました。

太平洋戦争中の昭和18年1月万世飛行場建設の為家屋の移転等が始まり、その後7月から飛行場建設が本格的に着工し昭和20年4月に完成しました。

その間、昭和19年8月頃（当時初等科6年）地域行事のらっぱ相撲の稽古を子供達20人ほどで実施していたとき上



南さつま支部 高木敏行氏

空を飛行機が通過しようとしていたので、日本の飛行機と思いを振った。米軍のグラマン戦闘機で機銃掃射に遭い、慌てて逃げ隠れたことがありました。幸いけがはありませんでしたが、命の危険が身近なものとして感じた初めての事でした。

この時以来、戦争に対する思いが変わり恐怖を感じるようになりました。また、昭和20年3月万世飛行場への大空襲で、兵舎も全滅、集落の防空壕内にいた家族等19人が直撃を受けて亡くなりその時の惨状はまともに見る事が出来ませんでした。

近況報告

いちき串木野支部

支部は、再発足して3年目に入り、平成27年度は4月の万世特攻慰霊祭に7人で参加、8月にいちき串木野市戦没者慰霊祭に隊友会として初めて参加し、市で慰霊祭参加団体として接遇して頂く等、大変有意義であった。

また、一昨年前市総合防災訓練に初めて参加した時は、担当課に「隊友会が手伝えることは何かありますか？」と聞くと「恵まれた故郷入来で微力では有りますが、余生を人のために過ごせたら幸せの人生だと思ってるんです。」



そろいのチョッキで誘導を実施

隊友会とは何ですか？と問われ、隊友会は自衛官OBの組織であり当市支部として34人の会員で組織していることを説明した結果、交通整理と誘導」を依頼された。昨年は16人が市職員とともに複数で立哨し、ヘルメットに隊友会名入りのチョッキと指示灯を片手に誘導を実施し無事終了した。

更に昨年は、10月25日に10人で参加し、10ヶ所の誘導地点に会

美しい日本の風景

伊集院支部 林 孝二郎

70年前に遡る。中国大陸で父が満鉄から華北交通に転勤していた関係で山東省済南市で終戦を迎えた。小学2年生の時

員だけで誘導にあたり好評を得た。また、11月15日には、県隊友会グラウンドゴルフ大会と当市銃剣道大会が重なり、会員を二分しての参加となったがその夜は両大会の合同反省会も実施し、会員間の親睦を図ることができた。いちき串木野支部長 古川清行 記

盛況グラウンド

後プレーを開始

雲一つない秋晴れの中鹿兒島市の隊友会、父兄会の各7チーム及び勤務員を含め総勢79名が吉野公園に集い河野会長の元氣溼刺な歓迎挨拶の



吉野公園での競技状況

戦争を経験した世代が少なくなりつつあります。戦争の悲惨さを、自分が元氣なうちに少しでも若い世代に伝えたいという思いがあります。

最後に、武力で物事を解決しようとする国が世界中に少しでもある以上自分達の国を守るために抑止力が必要です。しかし戦争は絶対にしてはいけません。どういふ状況

にあっても相手を思いやる心を持って争い事の無い平和な世の中になってほしいと思います。南さつま支部高木敏行記

県ゴルフ大会参

精一杯頑張った出水チームの方々

晩秋の川内駐屯地において実施された県大会に170人余の皆さんが参加されました。我が出水支部は、初参加の第10回大会で団体準優勝、個人優勝の成績を得て以来参加を継続しております。

そこで県大会前には、支部の親睦会と併せた練習大会を企画しました。連日の降雨による泥濘コースで、この競技には珍しい「求切りショット」を強いられ、創立記念行事後の装軌車跡ハザードに捉まる不幸などもありました。読解不可なコースにあって、ホルイン・ワンの歓声に援を送ったり、プレー途

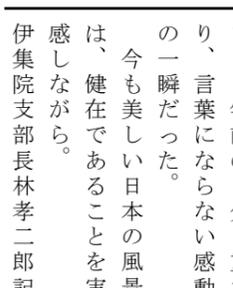
- 優勝 東 2位 桜島
- 団体・父兄会
- 優勝 西 2位 中央A
- 団体・隊友会
- 優勝 東 2位 桜島
- 個人（共通）
- 優勝 坂下俊弘氏
- 2位 今村正光氏
- 鹿兒島地協 後藤光一記

支部科学大臣表彰受賞

表彰状と小田勝美氏

その途中に母国の風景が目に入ってくる。美しい山々、緩やかな山波、緑の木々と竹林、その間をお年寄りらしき人が歩いていて姿が、何ともいえないのどかで、素朴で親近感を覚える光景が、今でも脳裏から離れない。

平成26年度九州・沖縄ブロック研修長崎大会は佐世保市であった。2日目の現地研修「海上自衛隊史料館」での事、最初に7階の展望台に上がり、館長から説明を受けた。最後に港の方向を指し促された。この港は終戦後、幾多の引揚げ船が入港してきた所だった。伝々の説明があった。私はそれを聞きながら、奇しくも、そして偶然にも70年前の自分と重なり、言葉にならない感動の一瞬だった。



伊集院支部長 林孝二郎氏

今も美しい日本の風景は、健在であることを実感しながら。



表彰状と小田勝美氏

現在も団体選手要員少年の部の育成を各先生方と協力して、高齢ながら防具をつけて日々練習に励んでおります。今後、ご支援頂いた方々への恩返しと、銃剣道連盟の発展のため、また少しばかり自己の健康管理も含めてさらに精進努力していきます。単人支部 小田勝美 記

《業務内容》

- ◆ 叙勲受章に際してのトータル的なアドバイス
- ◆ 拝謁上京時のご案内
- ◆ 叙勲額・大臣表彰額及び特注額の販売
- ◆ 叙勲・大臣表彰等各種記念品及び贈答品の販売

※ 叙位叙勲受章のご家族もお電話でお尋ね下さい

たからてんじんどう

株式会社 寶天神堂

鹿兒島市伊敷8-3-12 電話：099-218-4081
HP：http://www.jokun-iino.jp

60周年を祝



堂々と行進する観閲部隊

陸上自衛隊国分駐屯地は、平成27年10月25日に国分駐屯地開設60周年記念行事を開催した。今年は、昭和30年に第12普通科連隊が鹿屋から移駐して国分駐屯地が開設され60年となる記念の年となった。

当日は、午前8時から午後3時半まで一般開放

となり、朝から沢山の来場者で賑わった。午前10時から、観閲式が

始まり来賓の伊藤鹿屋市長や前田霧島市長を始め国会議員の祝辞等も

あり式典に華を添えてもなかった。観閲官の根本第12普通科連隊長兼国分駐屯地司令は式辞で「60周年を迎えることができたのは県民、市民の皆様のご支援、ご協力と諸先輩のご尽力のたまもの」と述べた。

引き続き観閲部隊指揮官、中渡第12普通科連隊副連隊長の指揮のもと観閲行進が行われ徒歩部隊・車両部隊が整然と行進すると大きな拍手が沸き起こった。

退官に思う

鹿地本 栗之丸 2佐



鹿地本 栗之丸 2佐

昭和45年、国分に入隊して以来36年間、東北方面隊を除く全国各地で勤務し、他人事のように多くの退官者を見送ってきたが、今年を目前に控え、兎陰流水の如しを強く感じている。

地元での勤務が叶い、平成25年8月から募集課長として勤務しているが、「土地柄からして鹿屋島の募集は安泰だろう」という当初の思惑とは裏腹に厳しい募集環境

に苦戦を強いられる。特に採用数が多い自衛官候補生(男子)の獲得においては、「やれる事は何でもやる」という強い意志の下、新たなことにもチャレンジしてきたが、そう簡単には片付く問題ではなく、昨年以上に厳しい現実を目の当たりにしている。

正直なところ定年した数年後の募集がどうなっているのか想像がつかない。現行の制度・態勢のままでは対応は困難であり、ましてや地方協力本部の募集課・各所だけでは限界に近づきつつあるように感じる。小手先の改善・工夫では状況は変わらない、イノベーション的なものが必要と考えている。

こんな状況の中、後ろ

隊員紹介

第55警戒隊原口3曹



基地業務小隊 原口 3曹

本紙面をお借りして沖永良部島分屯基地の誇る優秀な隊員を紹介します。基地業務小隊総括班の

原口3曹は、福岡県出身の九州男児25歳であります。ポイラー職ながら小隊の庶務担当として抜擢されて以来、細やかな気配り、若手ならではの閃き、物怖じしない性格を武器に小隊の縁の下力持ちとして、我々をガッチリと支えてくれています。

一隊員としても優秀で特にスポーツ万能であります。駆け足なら小隊どころか基地内でも一番の俊足を誇り、ストイックに鍛えられた筋力は他の

追隨を許しません。また豊富な運動経験を基に若手のトレーニングを牽引してくれており、小隊の体力面の底上げに一役買っております。

そんな彼の趣味はバドミントンであります。高い身体能力に裏打ちされた彼のバドミントンは、沖永良部島の中でもトップクラスの實力を持っています。今年の大島郡の大会で知名町の団体優勝の原動力となり、その他の大会においても数々の栄光に輝いています。

彼を筆頭に新鮮な風を吹き込んでくれる隊員が数多く揃う沖永良部島分屯基地。近くへお越しの際は是非お立ち寄りください。

第55警戒隊 長谷川 3曹 記

30周年を祝

川内駐屯地は、平成27年9月5、6日の両日



威風堂々行進する観閲部隊

にわたり、「原点回帰」を新しい時代に向けて、をテーマに、川内駐屯地創立30周年記念行事を挙行了した。

5日に行われた「市中パレード」では、第8音

4式戦車2両を含む車両約50両及び航空機2機が国道3号とその上空を威風堂々と行進・飛行した。沿道には、その雄姿を一目見ようと、約六千人の市民が日の丸の小旗を振って声援を送った。

また夕方からは、薩摩川内市にある川内文化ホールにおいて、薩摩川内市防衛協会と共催の「市民と自衛隊員のつどい」を催し、30周年記念講演として、元女子レスリング世界チャンピオン川崎明美一等陸尉(現鹿屋島地本 国分地域事務所長)による講演「スポーツを通じての人生観」をはじめ、市民による音楽演奏・創作ダンス等、自衛隊員による音楽・和太

鼓演奏等を披露し、来場した約千人の観客に「笑いと感動」を与えるとともに、市民と自衛隊員との交流を深めた。

翌6日の駐屯地一般開放においては、来隊した約四千五百人の市民に対し、観閲式及び訓練展示にて武力集団としての強さと逞しさを示すとともに、戦車試乗、装備品展示、野点(お茶)及び飲食物等の売店等により、来隊者に「和みと楽しさ」を提供した。特に訓練展示は、実戦さながらの防御戦闘を披露し、陸上自衛隊の力強さを見せつけた。こうして、二日間わたる記念行事は成功裡に終了した。

川内駐屯地は、30周年を機に、今一度原点に立ち返り、今後も地域の皆様と絆を強くし、地域から信頼され、郷土の

孫の遠洋航海

カ国(16地)

平成27年度遠洋練習航海に孫(ら)ゆき航海長(今井ゆかり1等海尉)が参加、5月21日晴海埠頭を出港、ハワイ・パナマ運河を通過、大西洋を南アメリカ大陸沿いに南下し、太平洋を北上、ヒロに寄港し10月27日無事に入港しました。その間160日、12

ことでしょうか。彼を筆頭に新鮮な風を吹き込んでくれる隊員が数多く揃う沖永良部島分屯基地。近くへお越しの際は是非お立ち寄りください。

第55警戒隊 長谷川 3曹 記

また10月27日、台風25号が接近し、うなるかと思いましたが、心配していませんでした。そして無事最終の晴海に入港でき安堵しました。

長い航海各国との友好親善等により、見聞を広め、知識を高めることができました。今回の体験、教訓を日常の職務に活かすことを希望する次第です。

郡山支部 堀之内 孜 記

【「地域防災マネージャー」制度の創設】

- 昨年10月、内閣府主管による「地域防災マネージャー」制度が創設されました。
- ・ 「地域防災マネージャー」とは、地方自治体における「防災監等」のことです。
- 「地域防災マネージャー」の資格要件は以下の2つです。
 - ① 防災に関する必要な研修等を受講した者(例:防災・危機管理教育)
 - ② 防災行政に関する一定程度の実務経験を有する者(例:3佐以上・実務2年以上)

「地域防災マネージャー」には、内閣府の発行する証明書が必要となります。OBの方で、上記資格をお持ちの方は、申請手続きをお勧めいたします。また、お知り合いの方への情報提供をお願い致します。



パナマ運河を通航する遠洋練習艦隊

全国の隊友向けに造りあげた一品!!

薩摩本格焼酎 天の輝き「隊友」 隊友会本部推奨

☆そのこだわり

- 原料はすべて鹿児島産100%使用
- サツマイモは黄金千貫、麴用コメはひのひかり
- 水は吹上浜の天然地下水

◎ 売上の一部を、鹿児島隊友会(本部、支部)へ還元

酒類通信販売 **北薩摩本舗**

FAX&TEL0996-44-5718
フリーダイヤル0120-58-7085
〒895-1203 薩摩川内市樋脇町市比野2230-3

●720ml ¥1,100(税込)
●1800ml ¥2,200(税込)

1ロット
・720ml×12本
・1800ml×6本
の場合
送料無料!!

華やかに彩られた・・・ジェイドガーデンパレス。歓迎会、送別会、謝恩会、同窓会、ご入学、ご卒業ご就職祝い、記念パーティ、祝賀会、結納、結婚式

鹿児島市上荒田町19番1号

●ご予約・お問合せは...

099-257-1211

JADE GARDEN PALACE
ジェイド ガーデン パレス
中国料理 翠園